

「学ぶ」「鍛える」「豊かな心」



# かわぐち

地域運営学校「コミュニティかわぐち」

地域運営学校  
八王子市立川口中学校  
学校だより 第2号  
令和8年5月22日発行  
TEL 042-654-2485



「これからのキャリア教育が目指すもの」  
校長 寺沢 亮

5月下旬を迎え、川口中の周りは目に鮮やかな新緑に包まれ、校庭には五月の爽やかな風が吹き抜けています。生徒たちがいきいきと躍動する体育祭まで、あと1週間あまりとなりました。練習にも熱が入り、校内には心地よい緊張感と活気が満ちあふれています。子どもたちが一つの目標に向かって力を合わせる姿には、この季節の青空のような清々しさを感じます。

さて、今回は令和5年6月に国立青少年教育振興機構が発表した「高校生の進路と職業意識に関する調査報告書 ～日本・米国・中国・韓国の比較～」という国際比較データから見える現代の子どもたちの姿を通して、本校が目指すこれからの教育について考えてみたいと思います。

まず、進路の目標【図1-1】を見ると、日本の生徒の大学進学意欲は約6割に達し、4か国中で最も高い数値を示しています。これは社会での自立を見据えた非常に高い意識の表れです。しかし一方で、専門性をさらに深める「大学院まで」を視野に入れる割合はわずか4.9%と最低でした。

また、進路選択において主に影響を受けている人【図1-2】は、4か国共通で「親（保護者）」が圧倒的1位でした。日本特有の傾向としては、「インターネットやSNS」の割合が他国より高い反面、親族や著名人の影響が極めて低い点が見られます。そして、働くことへのイメージ【図3-8】では、日本の生徒は「生活のため」「社会人としての義務」という回答が突出して高く、米国のように「楽しい」「やりがいがある」を前面に出す国とは対照的です。

これらのデータを総合すると、日本の若者は社会に出ることを非常に真面目に、責任感を持って捉えているものの、どこか受動的で「果たすべき義務」という硬いプレッシャーを感じていることがわかります。

これまでの日本の教育は、すでに習った概念や手法をあてはめることに主眼を置いた「適用型」の授業が中心でした。しかし、変化の激しいこれからの社会では、前例のない未知の課題に対して、必要な概念や手法をその都度自ら学びながら解決していく「概念学習型」への転換が強く求められています。

もちろん、年間の授業時数には限りがあり、すべての単元や授業でこの形態を取り入れることには無理があります。大切なのは、各教科の特質を見極め、適する題材において意図的・計画的に概念学習型や課題解決型の授業を組み込んでいくことです。

まだ解き方を知らない未知の領域に挑む中で、生徒自らが「あ！、もしかしてこういうことか！」「そうか、この仕組みを使えば解けるんだ！」「〇〇さんは、センスのある考え方をするなあ！」と気づく

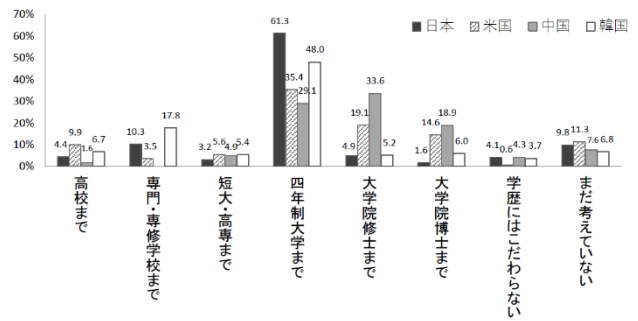


図1-1 将来、どの程度の教育を受けたいか

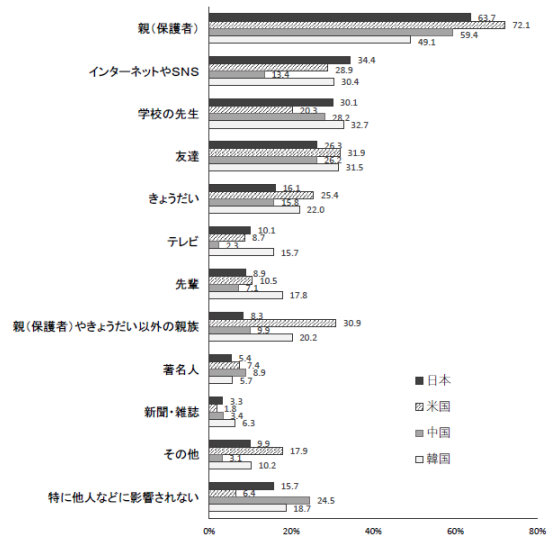


図1-2 進路について考えたり決めたりする際、主に影響を受けている人やもの(3つまで選択)

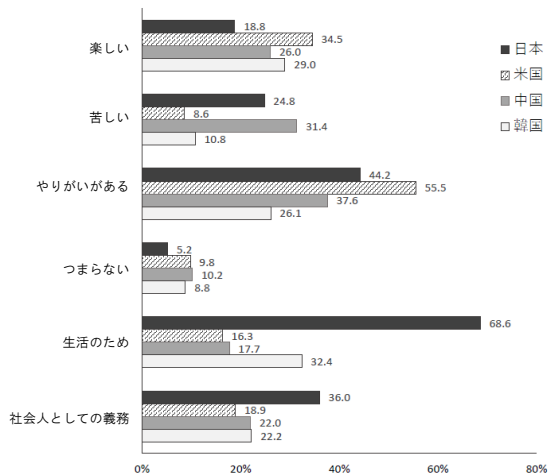


図3-8 「仕事」「働くこと」のイメージ(「とてもそう思う」と回答した割合)

瞬間（AHA 体験と言います）の喜びを意図的に仕掛けていくことが学校教育では求められています。これこそが、進学や就職を単なる「受け身の義務」から「自発的な喜び」へと変え、変化の激しい Society5.0 の時代を自らの手で切り拓いていく人間を育てていく最大の原動力に他なりません。

本校が目指す教育理念「少なく教えて、多くを学ぶ」、そして目指す生徒像「自ら問い、学び続ける人間」の育成は、まさにこの計画的な授業改善にあります。人から与えられた正解を待つのではなく、自ら問いを立てて探究し、脳がひらめくような喜びを重ねていく姿勢があって初めて、大学のその先にある専門性や、社会に出てからの本当のやりがいに巡り合うことができるのだと考えます。

データが示す通り、子どもたちの未来の選択に最も強い影響を与えるのは、どの国を見ても、他ならぬ保護者の等身大の姿です。家庭において、仕事の大変さだけでなく、新しいことを学び、社会とつながる手応えや「やりがい」を言葉にして伝えていくことは、子どもたちの職業観を豊かにするうえで非常に大きな意味をもちます。

また、目前に迫った体育祭はもちろん、日々の生活指針である「川中プライド（あいさつ・けじめ・思いやり）」を大切に実践していくことも同様です。一見、進路とは無関係に思える日々の授業での試行錯誤や、仲間との地道な協働の中にごそ、将来どのような社会に出ても他者と信頼関係を築き、新しい道を切り拓いていくための確かな基盤が存在します。社会に出ることを「義務」ではなく「楽しみ」に変える、しなやかな強さを育むため、今後とも学校と家庭が協働し、一步一步キャリア教育を進めていきたいと考えています。



国立青少年教育振興機構  
調査・研究ページ

(いろいろな研究結果が掲載されています)



<保護者の皆様へ>

## 第80回 体育祭のご案内

《内容》

○日時 令和8年5月30日（土）  
午前 8時50分 生徒入場 開会式  
午後 12時50分 閉会式終了予定

○場所 本校校庭

○受付 正門（西門）入口付近

※体育祭は午前競技で終了となります。午後は学活です。

※生徒は弁当・水筒持参です。

※生徒は14：30最終下校の予定です。

《お願い》

○受付で、「参観確認書」をご提出ください。  
○参観時はPTA配布の名札をご着用ください。

○当日中止の連絡は、朝6時30分までに  
Home&Schoolにてお伝えします。

○雨天延期の場合は6月2日（火）に実施します。

○学校敷地内は禁煙です。学校周辺においても  
地域の方のご迷惑となりますのでご遠慮ください。

○車でのご来校は原則できません。

### 当面の予定

※事情により変更の場合があります。

5/22	金	避難訓練 体育祭放課後練習	10	水	
23	土		11	木	
24	日		12	金	教育実習終
25	月	朝礼 教育実習始 全校練習	13	土	
26	火	尿検査2次	14	日	
27	水	体育祭予行	15	月	生徒会朝礼
28	木	体育祭予行予備日	16	火	避難訓練
29	金	体育祭前日準備	17	水	いのちの日 定期考査一週間前
30	土	体育祭 弁当持参	18	木	放課後学習教室
31	日		19	金	放課後学習教室
6/1	月		20	土	
2	火	体育祭予備日	21	日	
3	水	振替休業日	22	月	
4	木	高校の先生の話を聞く会（3年）	23	火	放課後学習教室
5	金		24	水	期末考査（数学・社会・美術）
6	土		25	木	期末考査（国語・英語・音楽） 多摩特研球技大会（4組）
7	日		26	金	期末考査（理科・技家・保体） 学校運営協議会
8	月	朝礼 専門委員会	27	土	
9	火	青少対あいさつ運動	28	日	